

【連携体の収支】(総括表)

連携体名:○○地域農泊連携推進委員会(○○○○地域協議会)【○○県○○市】

○連携体の構成員

提案書に記載されている構成員名を記載する。なお、構成員名の後に()書きでその構成員の役割を記載すること。
例)農家民泊A(宿泊、体験)、農家民宿B(宿泊、体験)、○○地域協議会(連携体構成員間の調整)※地域協議会は必須。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策)収支計画

(千円)

| | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | |
|------------------|-------|-------|--------|--------|------------------------------------|
| 宿泊①(農家民泊A) | 0 | 0 | 4,000 | 4,000 | R9.○月から供用 (農家民宿に転換) |
| 宿泊者数 | 400 | 400 | 400 | 400 | ○人×○室(現況)→○人×○室 |
| 宿泊単価 | 0 | 0 | 10 | 10 | 朝夕食事付き |
| 宿泊②(農家民宿B) | 2,400 | 2,400 | 6,576 | 7,884 | R9.○月から供用開始 (施設の質の向上) |
| 宿泊者数 | 300 | 300 | 548 | 657 | ○人×○室(現況)→○人×○室 |
| 宿泊単価 | 8 | 8 | 12 | 12 | 朝夕食事付き |
| 体験プログラム① | 1,200 | 1,200 | 1,200 | 1,200 | ○○体験(農家民泊A) |
| 参加者数 | 400 | 400 | 400 | 400 | |
| 単価 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| 体験プログラム② | 900 | 900 | 1,644 | 1,971 | ○○体験(農家民宿B) |
| 参加者数 | 300 | 300 | 548 | 657 | |
| 単価 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| 売上 | 4,500 | 4,500 | 13,420 | 15,055 | |
| 経費 | 4,900 | 4,900 | 10,697 | 11,269 | |
| 人件費 | 1,700 | 1,700 | 6,000 | 6,000 | |
| ・宿泊費分① (単位:人) | | | 1,800 | 1,800 | |
| | | | 1 | 1 | |
| ・宿泊費分② (単位:人) | 900 | 900 | 1,800 | 1,800 | |
| | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| ・体験費分① (単位:人) | 800 | 800 | 1,200 | 1,200 | |
| | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| ・体験費分② (単位:人) | | | 1,200 | 1,200 | |
| | | | 1 | 1 | |
| 販管費等 | 3,200 | 3,200 | 4,697 | 5,269 | |
| ・宿泊費分① | 1,400 | 1,400 | 1,400 | 1,400 | 水光熱費、消耗品費、備品購入費、広告費、食材費 宿泊①売上の〇% |
| ・宿泊費分② | 1,000 | 1,000 | 2,302 | 2,759 | 水光熱費、消耗品費、備品購入費、広告費、食材費 宿泊②売上の〇% |
| ・体験費分① | 500 | 500 | 420 | 420 | 水光熱費、消耗品費、備品購入費、広告費 体験①売上の〇% |
| ・体験費分② | 300 | 300 | 575 | 690 | 水光熱費、消耗品費、備品購入費、広告費 体験②売上の〇% |
| 補助金自己負担分 | | | | | 借入の返済(○○年償還) |
| 火災保険料 | | | | | |
| 経常利益 | -400 | -400 | 2,723 | 3,786 | 事業開始から3年目(R10年度)迄に黒字を達成させる計画とすること。 |

【記載例】農家民泊経営者等実施型の場合

施設整備事業を実施するためには、以下の3種類の収支の作成が必要です。

①整備する各施設ごとの収支(提案書(別添2の別紙1)の「施設整備計画」に記載)

②連携体として今回整備する施設の農泊の取組の収支(本資料に記載)

※ R7年度からの収支計算として整理してください。(農家民泊経営者等実施型の場合は、

宿泊提供の実績を持ち、事業実施の効果が見込まれる施設であることが要件とされているため)

③連携体全体の農泊の取組の収支(提案書(別添2の別紙1)の「収支見通し」に記載)

よって、それぞれの収支は、①<②<③となります。

【宿泊について】

- 改修する施設ごとに増加する宿泊者数及び宿泊単価(目標値)とする)を改修施設別に各年度ごとに整理する。
- 施設供用開始予定年月を備考欄へ記載する。
- 宿泊者数は、改修前と改修後の変化が分かるように記載すること。

【体験について】

- 体験プログラム開発は3プログラム以内に集約し、各体験プログラムごとに収支を作成する。
- なお、体験プログラム名及び内容は“桃収穫体験”“稲刈り体験”等具体的に本表下部に記載する。
- 体験プログラムは提案書に記載されているものを全て記載するのではなく、**今回施設整備を実施する農家民泊経営者等が提供するプログラムを記載**すること。
- 各体験参加者数は、本取組により増加する人数を各施設ごとに年度ごとに記載する。

【人件費について】

- 農家民泊経営者等が自ら宿泊施設、体験プログラムの実施を行う場合の人件費を計上する。
- (体験プログラム実施に係る人件費については、各体験プログラムごとに作成すること。)

【販管費について】

- 農家民泊経営者等が自ら宿泊施設、体験プログラムの実施を行う場合に記載が必要となるが、食材費については宿泊施設が素泊まりである場合や体験プログラムに食材を要しない場合は記載不要。
- (体験プログラム実施に係る販管費については、体験プログラムごとに作成すること。)
- 記載例に従い、各々売上の〇%と記載すること。

【販管費等について】

- 販管費等は、以下に示す値が標準とされており、標準値を用いない場合はその根拠を備考欄に記載すること。
- 販管費(飲食を含まない場合):30%程度
- 販管費(飲食を含む場合):35%程度

【体験メニューの具体的な内容】

①○○体験(実施主体 農家民泊A)

農家の方々にガイド及び受け入れ先として協力いただき、果樹畠での収穫(柑橘類:ゆず等、スモモ)、地元農家や地元の方々との交流を楽しんでいただく。

②○○体験(実施主体 農家民宿B)

~~~~~